



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日: 令和7年6月19日

“**勇気**”と“**思いやり**”と“**自分から**” ～運動会を通して育てたい力と心～

校長 櫻 井 亮

今年度の運動会が目前に迫ってきました。ご家庭でのお子さんの姿はやる気マンマンモードでしょうか？ それともちょっとお疲れモード?!でしょうか。本番当日はベストの状態
で練習の成果を思う存分発揮できるよう、十分な睡眠と毎日の朝ご飯でエネルギー補給を
お願いします。あわせて、食事前の手洗い・うがいの励行もお願いします。

さて、本校では、運動会という大きな行事を通して、子どもたちにどのような力や心を
育てたいか、ということを職員全体で確認し、約3週間の取組を進めてきました。

育てたい資質・能力	・コミュニケーション力	・忍耐力	・自主性
育てたい道徳性	・希望と勇気 ・規則の尊重	・努力と強い意志 ・より良い学校生活	・友情 ・信頼 ・集団生活の充実

上記の育てたい力や心は、教師側（＝大人）が考え、指導に反映するだけでなく、**子どもたちにも「あなたたちには、運動会を通してこんな力をつけてほしい、こんな心をも
てほしい、と思っているんだよ。ぜひ、自分（たち）の成長のために頑張っていこう」と
伝え、自分ごとにするのがとても大事だ**と思っています。

勇気・思いやり・自分から…これらは、全校練習のときに子どもたちに伝えた“育
ててほしい力と心”を3つにまとめたものです。

ドキドキした気持ちや、不安な気持ちに負けない“**勇気**”。

みんなと力を合わせたり、誰かのために一生懸命応援したりする“**思いやり**”。

今、自分がやることを自分の頭で考え、行動する“**自分から**”。

この3つの力と心の成長を、競技中の姿・応援席での声援・専門委員会や書記局の仕事
ぶりから感じ取りたい、と思っています。保護者・ご家族の皆様と共にお子さんの成長を
喜び、その喜びを子どもたちに伝えたい…そういう運動会になることを願っています。